

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和4年度調査）

精神医療等の実施状況調査

※この病棟票は、病棟の管理者の方に精神医療の診療体制や実施状況、今後の意向等についてお伺いするものです。

※以下の【調査対象病棟】に記載した入院基本料等を算定している病棟についてご記入ください。以下の入院基本料別に、「調査実施要領」の「Ⅱ. 対象者及び回答方法」に沿って対象病棟を抽出のう

え病棟票を作成ください（該当する病棟がない場合は、その入院基本料についての病棟票は、回答不要です）。

※ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「〇（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。

※特に断りのない質問については、令和4年 11 月 1 日時点の状況についてご記入ください。

【調査対象病棟】

- ・精神科救急急性期医療入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科救急・合併症入院料、地域移行機能強化病棟入院料の届出を行っている全病棟
- ・精神病棟入院基本料（10 対1、13 対1、15 対1）、精神科療養病棟入院料の届出を行っている病棟のうち1 棟

1. 入院基本料等について

① 当該病棟の入院基本料等をお選びください。	01. 精神科救急急性期医療入院料 02. 精神科急性期治療病棟入院料 03. 精神科救急・合併症入院料 04. 精神病棟入院基本料 05. 精神療養病棟入院料 06. 地域移行機能強化病棟入院料
② 当該病棟の許可病床数をご記入ください。	() 床
③ 病床利用率をご記入ください。	() % 令和4年10月

④-1 貴病棟の職員数^{注1}(常勤換算^{注2})をご記入ください。

1) 医師	人
a. (うち)精神保健指定医	人
b. (うち)精神科特定医師	人
c. (うち)上記以外の精神科医師	人
2) 看護師(保健師を含む) ^{注3}	人
a. (うち)精神看護専門看護師*	人
b. (うち)認知症看護認定看護師*	人
c. (うち)精神科認定看護師**	人
d. (うち)特定行為研修修了者	人
3) 准看護師	人
4) 看護補助者	人
5) 薬剤師	人
6) 作業療法士	人
7) 公認心理師	人
8) 精神保健福祉士	人
9) 社会福祉士(上記8)を除く)	人
10) 管理栄養士	人

注1 外来や入退院支援部門等、病棟以外の業務に従事する者は除いてください。

注2 常勤換算：貴施設の1週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第1位まで（第2位を切り捨て）ご記入ください。

例：1 週間の所定勤務時間が40 時間の病院で、週4 日（各日5 時間）勤務の看護職員が1人いる場合：（4 日×5 時間×1 人）÷40 時間

注3 貴病棟以外の病棟業務に従事する者は除いてください。

* 日本看護協会の認定した者 ** 日本精神科看護協会の認定した者

④-2 貴病棟の職員数(実人数)をご記入ください。				
	貴病棟においてのみ業務を行っている職員数	貴病棟と、それ以外の病棟において業務を行っている職員数 (外来等従事なし)	貴病棟と、入退院支援部門で業務を行っている職員数	貴病棟と、外来等(入退院支援部門を除く)で業務を行っている職員数
1) 医師	人	人	人	人
a. (うち)精神保健指定医	人	人	人	人
b. (うち)精神科特定医師	人	人	人	人
c. (うち)上記以外の精神科医師	人	人	人	人
2) 薬剤師	人	人	人	人
3) 作業療法士	人	人	人	人
4) 公認心理師	人	人	人	人
5) 精神保健福祉士	人	人	人	人
6) 社会福祉士(上記5)を除く)	人	人	人	人
7) 管理栄養士	人	人	人	人

⑤夜間の病棟における職員配置の状況についてお伺いします。夜間配置されている職種について、該当するものをお選びください。
(○はいくつでも)

01. 医師 ⇒ (11. 精神保健指定医 12. 精神科特定医師 13. 左記以外の精神科医師)
02. 看護師(保健師を含む) ⇒ (21. 精神看護専門看護師 22. 認知症看護認定看護師 23. 精神科認定看護師 24. 特定行為研修修了者)
03. 准看護師 04. 看護補助者 05. 薬剤師 06. 作業療法士
07. 公認心理師 08. 精神保健福祉士 09. 社会福祉士(08除く) 10. 管理栄養士
11. その他 ()

⑥貴病棟の看護職員 ^{注4} の勤務者数について(令和4年8月～10月)	
1) 平日日勤帯	平均 人/月
2) 準夜勤帯	平均 人/月
3) 深夜勤帯	平均 人/月

⑦貴病棟の看護職員 ^{注4} の勤務時間等(夜勤専従者は除く) (令和4年8月～10月)	a. 常勤	b. 非常勤(常勤換算)
1) 1人当たり平均勤務時間 ^{注5} /月	時間/月	時間/月
2) 1人当たり平均夜勤時間 ^{注6} /月	時間/月	時間/月

注4 看護職員：保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

注5 平均勤務時間：実際に勤務した時間です。残業時間も含みます。

注6 平均夜勤時間：延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数(※夜勤従事者は夜勤時間帯に病棟で勤務する時間+夜勤時間帯に病院内(病棟+病棟外)で勤務する時間)。なお、次の該当者は計算から除外してください。a) 夜勤専従者(専ら夜勤時間帯に従事する者)、b) 急性期一入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟の場合は月夜勤時間数が16時間未満及び短時間制職員で月夜勤時間数が12時間未満の者、c) 急性期一般入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟以外の病棟の場合は、月夜勤時間数が8時間未満の者。

⑧貴病棟の看護補助者の勤務者数について(令和4年8月～10月)	
1) 平日日勤帯	平均 人/月
2) 準夜勤帯	平均 人/月
3) 深夜勤帯	平均 人/月

⑨貴病棟の看護補助者の勤務時間等(夜勤専従者は除く) (令和4年8月～10月)	a.常勤	b.非常勤(常勤換算)
1)1人当たり平均勤務時間/月	時間/月	時間/月
2)1人当たり平均夜勤時間/月	時間/月	時間/月

⑩貴病棟の作業療法士の勤務者数について(令和4年8月～10月)	
1)平日日勤帯	平均 人/月
2)準夜勤帯	平均 人/月
3)深夜勤帯	平均 人/月

⑪貴病棟の作業療法士の勤務時間等 (令和4年8月～10月)	a.常勤	b.非常勤(常勤換算)
1)1人当たり平均勤務時間/月	時間/月	時間/月
2)1人当たり平均夜勤時間/月	時間/月	時間/月

⑫貴病棟の精神保健福祉士の勤務者数について(令和4年8月～10月)	
1)平日日勤帯	平均 人/月
2)準夜勤帯	平均 人/月
3)深夜勤帯	平均 人/月

⑬貴病棟の精神保健福祉士の勤務時間等(令和4年8月～10月)	a.常勤	b.非常勤(常勤換算)
1)1人当たり平均勤務時間 ^{注5} /月	時間/月	時間/月
2)1人当たり平均夜勤時間 ^{注6} /月	時間/月	時間/月

⑭貴病棟では、認知症看護に係る適切な研修を修了した看護師はいますか。
01. いる ⇒常勤看護師 () 人、非常勤看護師[常勤換算] () 人 02. いない

⑮貴病棟では、認知症ケアに関する事例検討会を開催していますか。
01. 院内で開催している 02. 院外の事例検討会に参加している 03. 開催しておらず、院外の事例検討会にも参加していない

⑯認知症ケアに関する事例検討会を開催している場合、開催状況についてご回答ください。				
1)開催頻度	月（ ）回程度			
2)参加職種(○はいくつでも)	01. 医師（精神科）	02. 医師（精神科以外）	03. 看護師	04. 薬剤師
	05. 作業療法士等リハ職	06. 精神保健福祉士	07. 公認心理師	08. その他

⑰認知症ケアの実施状況についてご回答ください。		
1) 看護計画の作成における認知症ケアチームとの連携の有無	01. 連携している	02. 連携していない
2) 計画作成段階からの退院支援の検討・実施状況	01. 実施できている	02. あまり実施できていない 03. 実施できていない
3) 症例等の検討状況	01. 週に1回程度以上の頻度で実施している 02. 週に1回程度未満の頻度で実施している 03. 実施していない	

2. 入院患者の状況

① 令和4年 11月1日における当該病棟の全ての入院患者について、以下の該当する人数をご記入ください。		
1) 令和4年11月1日時点での在院患者数		人
2) 上記のうち各患者数		人
向精神薬の使用		
a. 主傷病に対して薬物療法を受けている患者数		人
b. (うち)クロザピンを投与している患者数		人
c. (うち)持続性抗精神病注射薬剤(LAI)を投与している患者数		人
d. (cのうち)非定型 LAI を投与している患者数		人
精神保健福祉法上の行動制限中の患者数	a. 隔離中	人
	b. 身体的拘束中	人

② 令和4年10月の1か月間について、貴病棟に入院した患者数、退棟した患者数をご記入ください。		
1) 当該病棟における新規入院患者数		人
a. (うち)任意入院		人
b. (うち)医療保護入院		人
c. (うち)措置入院		人
d. (うち)緊急措置入院		人
e. (うち)応急入院		人
2) 上記1)のうち入棟前の居場所別患者数		人
a. 自宅(在宅医療の提供あり)		人
b. 自宅(在宅医療の提供なし)		人
c. 介護老人保健施設		人
d. 介護医療院		人
e. 介護療養型医療施設		人
f. 特別養護老人ホーム		人
g. 軽費老人ホーム、有料老人ホーム		人
h. その他の居住系介護施設(認知症グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等)		人
i. 障害者支援施設		人
j. 他院の一般病床		人
(jのうち)特別の関係にある他院		人
k. 他院の療養病床		人
(kのうち)特別の関係にある他院		人
l. 他院の精神病床		人
(lのうち)特別の関係にある他院		人
m. 他院のその他の病床		人
(mのうち)特別の関係にある他院		人
n. 自院の一般病床		人
o. 自院の療養病床		人
p. 自院の精神病床(他病棟)		人
q. 自院のその他の病床		人
r. 有床診療所		人
s. その他		人

3) 当該病棟における退棟患者数	人
a. 自宅(在宅医療の提供あり)	人
b. 自宅(在宅医療の提供なし)	人
c. 介護老人保健施設	人
d. 介護医療院	人
e. 介護療養型医療施設	人
f. 特別養護老人ホーム	人
g. 軽費老人ホーム、有料老人ホーム	人
h. その他の居住系介護施設(認知症グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等)	人
i. 障害者支援施設	人
j. 他院の一般病床	人
(jのうち)特別の関係にある他院	人
k. 他院の療養病床	人
(kのうち)特別の関係にある他院	人
l. 他院の精神病床	人
(lのうち)特別の関係にある他院	人
m. 他院のその他の病床	人
(mのうち)特別の関係にある他院	人
n. 自院の一般病床	人
o. 自院の療養病床	人
p. 自院の精神病床(他病棟)	人
q. 自院のその他の病床	人
r. 有床診療所(介護サービス提供医療機関)	人
s. 有床診療所(上記以外)	人
t. 死亡退院	人
u. その他	人

4) 当該病棟におけるすべての入院患者数	人
a. (4)のうち精神科救急医療体制加算の算定患者数	人
b. (aのうち)認知症患者数	人
c. (bのうち)措置入院及び緊急措置入院患者数	人
d. (bのうち)休日時間外入院患者数	人
e. (4)のうち気分障害患者数	人
f. (eのうち)躁状態又は自殺・自傷行為及び栄養障害、脱水等の生命的危険を伴う患者数	人

③令和4年10月の平均在院日数、在宅復帰率をご記入ください。	
1) 平均在院日数	日
2) 在宅復帰率	%

④貴病棟の入院患者数 ^{注7} をご記入ください。	令和4年10月の1か月間
1) 貴病棟の入院患者数	人
2) 身体的拘束 ^{注8} を実施した患者数(実人数)	人
a. うち、認知症ケア加算算定患者数(実人数)	人
b. うち、精神科措置入院診療加算算定患者数(実人数)	人
c. うち、精神科隔離室管理加算算定患者数(実人数)	人
d. うち、精神科地域移行実施加算算定患者数(実人数)	人
e. うち、精神科身体合併症管理加算算定患者数(実人数)	人
f. うち、強度行動障害入院医療管理加算算定患者数(実人数)	人

注7 病棟全体の令和4年10月1か月間の実患者数とすること。

注8 身体的拘束は、精神保健福祉法に基づいて精神保健指定医の指示に下実施される、衣類又は綿入り帯等を使用して、一時的に患者の身体を拘束し、その運動を抑制する行動の制限をいいます。

3. 在宅復帰に向けた取組等の実施状況について

①令和4年10月1か月間における以下の各加算等の算定件数についてご記入ください。

1)精神科退院時共同指導料	件
2)療養生活環境整備指導加算	件
3)療養生活継続支援加算	件

②「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等を踏まえた、患者の意思決定支援に関する指針を策定していますか。

01. 策定している

02. 策定していない

4. 退院調整に向けたカンファレンスの開催状況について

①退院調整に向けたカンファレンスの開催状況について伺います。(令和4年10月1か月間)

1) 1か月当たりの開催回数	() 回
2) 退院調整を行った患者の割合	01. 20%未満 02. 20%以上50%未満 03. 50%以上80%未満 04. 80%以上100%未満 05. 100% 06. 退院患者がいなかった
3) カンファレンスを開催する患者を選択する基準(○はいくつでも)	01. 医師等の評価に基づいて選択している 02. 本人・家族等からの要望に基づいて対応している 03. 地域の連携先等からの要望に基づいて対応している 04. 予め開催する基準を定めている ⇒41. 疾患・症状 42. 治療内容 43. 退院先の状況 44. 家庭の状況 45. その他 () 05. その他 () 06. 特に基準は定めていない
4) 参加職種(○はいくつでも)	《 自院 》 01. 医師 (精神科) 02. 医師 (精神科以外) 03. 看護師 04. 薬剤師 05. 作業療法士等リハ職 06. 精神保健福祉士 07. 公認心理師 08. その他 《 自院以外 》 01. 医師 (精神科) 02. 医師 (精神科以外) 03. 看護師 04. 薬剤師 05. 作業療法士等リハ職 06. 精神保健福祉士 07. 公認心理師 08. 保健師 09. その他 《 その他 》 01. 自治体関係者 02. 介護サービス事業者 03. 障害福祉サービス事業者 04. その他 ()
5) 開催方法(○はいくつでも)	01. 対面 02. オンライン会議 03. メール・書面等 04. その他
6) 障害福祉サービス事業者等との連携・調整に当たっての課題(○はいくつでも)	01 近隣に連携先となる障害福祉サービス事業所がない・わからない 02. 障害福祉サービス事業所が複数関わっており連携が困難である 03. 障害福祉サービス事業所側での受入れ体制が不十分である 04. 状態によっては対応できる障害福祉サービス事業所がない 05. 退院後の生活や支援に必要な情報が不十分である 06. 退院調整のための十分な期間を確保できない 07. 地域で退院調整を行う者が不在・不明確である 08. その他 ()

5. 医師・看護師以外の職種の配置等の状況について

①以下の各職種の貴病棟への配置の有無、配置による効果・成果をご記入ください。	
1) 精神保健福祉士の配置の有無	01. 配置あり 02. 配置なし
病棟に配置することは患者にとって良いと思うか	01. とても思う 02. どちらかというと思う 03. どちらともいえない 04. どちらかというと思わない 05. 全く思わない 06. 分からない
上記で01・02を選んだ場合、その理由(○はいくつでも)	【患者にとって】 01. 安心感、納得感につながるため 02. きめ細かな支援が可能となるため 03. 相談がしやすくなるため 04. 家族等への支援が可能であるため 05. その他 () 【職員にとって】 01. 治療や生活指導等のきめ細かな支援が可能となるため 02. 多職種連携、関係者との調整が円滑になるため 03. 専門的な評価が支援が可能になるため 04. 医師等の他職種の負担軽減につながるため 05. その他 ()
2) 作業療法士の配置の有無	01. 配置あり 02. 配置なし
病棟に配置することは患者にとって良いと思うか	01. とても思う 02. どちらかというと思う 03. どちらともいえない 04. どちらかというと思わない 05. 全く思わない 06. 分からない
上記で01・02を選んだ場合、その理由(○はいくつでも)	【患者にとって】 01. 安心感、納得感につながるため 02. 日中の活動と参加の機会が得られるため 03. 相談がしやすくなるため 04. 家族等への支援が可能であるため 05. その他 () 【職員にとって】 01. 患者の応用的・社会適応能力の評価に基づく生活能力・社会生活能力の見立てができるため 02. 治療や生活指導等のきめ細かな支援が可能となるため 03. 多職種連携、関係者との調整が円滑になるため 04. 対象者に応じたリハビリテーションが可能になるため 05. その他 ()
3) 公認心理師の配置の有無	01. 配置あり 02. 配置なし
病棟に配置することは患者にとって良いと思うか	01. とても思う 02. どちらかというと思う 03. どちらともいえない 04. どちらかというと思わない 05. 全く思わない 06. 分からない
上記で01・02を選んだ場合、その理由(○はいくつでも)	【患者にとって】 01. 安心感、納得感につながるため 02. きめ細かな支援が可能となるため 03. 相談がしやすくなるため 04. 家族等への支援が可能であるため 05. その他 ()

